

ラクダ40頭ほどに食料（人間とラクダの分）と水、そして装備を積み込んで40日、1,000kmほどを歩いてきました。当初は3ヶ月3,000kmを歩く予定だったんですが、予算の関係で1/3にカットということになってしまいました。それでも砂漠の自然の厳しさには変わりはありませんでしたが・・・。

別のグループは、砂漠の周りのオアシスの街々を訪ねて、小中学校や舞踏団なんかと国際交流を深めてきました。この街には、これほど大規模な外国人の交流団が入るのは初めてのことで、それこそ恐竜が現れたところではない程の大騒ぎでした。

私は招待所（ホテルですが風呂はなく、トイレも離れになっていた）を出て、よくバザール（市場）に遊びに行きました。このバザールは食料だけでなく、ラクダや馬まで揃います。食料は日本のように1つずつバックに入っているなんてのは全く無く、肉は塊で店先に吊り下げてあり、羊や鳥

は生きたまま売っています。そして、買った羊を連れて帰り、家でさばいて料理するのです。また、肉まん屋やラーメン（日本のうどんに、トマトソースをかけたようなもの）屋、そして串ざしにした羊の肉を炭火で焼いたシシカバブー屋が大繁盛していました。

日本では、タクラマカン砂漠というと、人も寄り付かぬ不毛の大地、と思われがちですが、こんな所に遥かシルクロードの頃よりの文化があり、営みがあります。

自然が美しく厳しいだけに、人と人の出会いがより温かく感じられた中国の旅でした。

\*CADと探検。不思議な、でも何か魅力を感じる組み合わせですネ。

今回のセミナー報告はいかがでしたか？まだまだ紹介したいのですが、、また今度です。お楽しみに！！

## プロップコンピュータセミナー 受講生大募集！

セミナー内容；Macintoshセミナー

PC-9801セミナー

各セミナーの詳細な内容はFLANKERの前号をご参照ください。

スケジュール；1993年9月～1994年2月

Macintoshセミナーは毎週水曜日（ボランティア協会、グランドビル）

PC-9801セミナーは毎週金曜日（NEC関西支社）

（なお、上記は都合により変更することがあります）

受講資格；就業を目指す方で、何等かの障害がある方。

受講料；テキスト代、会場レンタル代等の実費を負担していただきます。

連絡先；受講希望者はプロップ・ステーション事務局までご連絡ください。

### 【Macintoshコース】

見学随時受付中！（日程など変更になる事があります。予め、電話でご確認ください）

●開催日；毎週水曜日 PM 6:30～PM 8:45（ただし、PM 6:00から準備）

●場 所；千里情報事業財団 阪急グランドビル15F（原則第2、4水曜日）

大阪ボランティア協会 4Fセミナー室（原則上記以外の水曜日）

日	場所	セミナーの内容	
7月 7日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 1/4)	プログラミング講習c (ThinkC 1/8)
7月14日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 1/4)	プログラミング講習c (ThinkC 2/8)
7月21日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 2/4)	プログラミング講習c (ThinkC 3/8)
7月28日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 2/4)	プログラミング講習c (ThinkC 4/8)
8月 4日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 3/4)	プログラミング講習c (ThinkC 5/8)
8月11日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 3/4)	プログラミング講習c (ThinkC 6/8)
8月18日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 4/4)	プログラミング講習c (ThinkC 7/8)
8月25日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 4/4)	プログラミング講習c (ThinkC 8/8)

9月、10月は、Phase3の初心者コース及びPhase2の作品制作を同時並行で行う

グランドビルの予定；9/8(水)、9/20(月)、10/12(火)、10/27(水)

## アクセシビリティ関連機器III

98セミナーを受けて、今回はNEC関連のサポート機器をご紹介します。

## 視覚障害者用点字パソコン

ブレイルパートナー Braille Partner

持ち運びが便利なノートパソコンに、点字入力と音声出力がドッキング。点字を使って読み書きすることはもちろん、いつでもどこでも自由に、情報検索、パソコン通信が可能になります。

I.情報入力装置—点字キーボード

II.情報出力装置—1.点字ペンディスプレイ  
2.音声合成装置

III. 接続対応パソコン—NEC製ノート型パソコン

基本構成セット合計価格：¥1,138,000

■ハードウェア◇PC-9801NS/R  
◇BN-40B

■ソフトウェア◇LWORKS

[ワープロ・読書器] (他、オプション有)

## キーボード入力支援装置

ソフトパートナー SOFT PARTNER

タッチパネルや様々なスイッチを使い、利用者の障害の程度や利用ソフトの内容にあった入力ができるキーボードです。

基本構成セット合計価格：¥852,800

■ハードウェア◇グラフィックキーボード  
◇デスクトップ型パソコン  
◇15インチカラーディスプレイ

■ソフトウェア◇ソフトパートナー編集プログラム  
◇スイッチ (標準品)  
◇現地調整費 (基本)

## コミュニケーション支援装置

トーキングパートナー TALKING PARTNER

スイッチひとつで文章や単語・文字を選択し、発生させることで、より円滑なコミュニケーションが行える装置です。

基本構成セット合計価格：¥497,800

■ハードウェア◇PC-9801NS/R  
◇音声合成装置  
◇プリンターケーブル  
■ソフトウェア◇トーキングパートナー  
◇日本語MS-DOS基本セット  
◇スイッチ (標準品)  
◇現地調整費 (基本)

以上、問い合わせ先：

NEC C&C第一官庁システム事業部

販売促進部 TEL.03-3798-6212

FAX.03-3798-6435

NECコンピュータシステム官公システム事業部

TEL.03-3265-6161(代)

FAX.03-3295-6676

## 弱視者のためのディスプレイ文字拡大装置

PC-WIDE ●ピーシー・ワイド●

○NEC社製パソコンPC-9801とディスプレイの間に接続するだけで簡単に設置でき、晴眼者と同じく、多くの市販ソフトがそのまま容易に使用できます。

○拡大は瞬時に行われ、画面はジョイスティックを操作することにより、任意のスピードで拡大したまま、リアルタイムで移動できます。

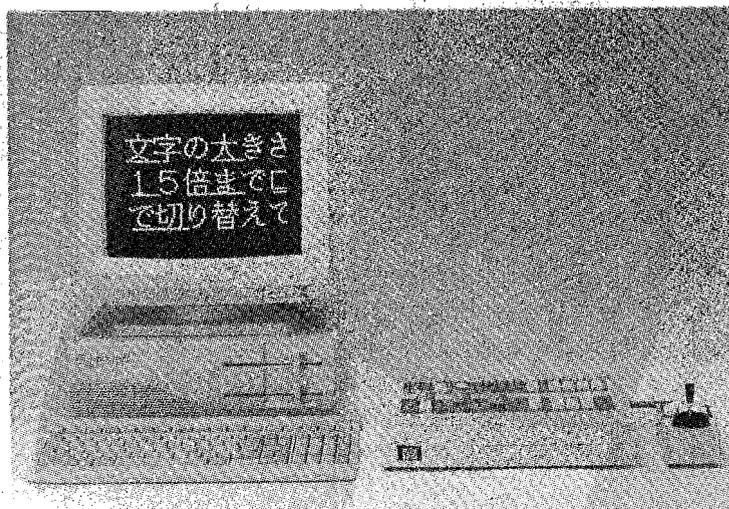
※アナログRGB入力の無いタイプでは使用できません。

定価：¥380,000 (NEC-PC-9801用、PC-WIDEのみの価格)

問い合わせ先：ネオローク電子株式会社

〒130 東京都墨田区菊川2-21-4

TEL.03-5624-4390 (代表)



パソコンとの接続

# ビジネスひと

# 関西トレンディ

企業人求む……。障害者を助けるボランティアと謳うと身の回りの世話を想像しがちだが、サブリーマンが仕事の知識、経験を身障者に手ほどきするユニークなボランティア活動が登場した。この四月、大阪市で正式発足した市民グループ「プロップステーション」(竹中ナミ代表)は、コンピュータに詳しい企業人と興味を持つ障害者が一緒になって、コンピュータ技術の習得による障害者の就労支援に取り組む。技術セミナー開催からメンバーの会社での実務実習まで、社団法人を自指して活動実績を積み重ねている。

## 大阪の市民グループ 「プロップステーション」

その活動の始まりは一年前。障害者の職業選択の乏しさを、就職の際に不利な点を何とかしよう、と障害者や福祉関係者の間で話が持ち上がった。企業との接点を見付けられないかと、目を着けたのが「コンピュータ」。障害がハンディにならないくらいさえ、在宅勤務も可能だ。目的はあくまで実際の就労。日進月歩で技術が進む中で、実務に即した力を付けることが必要になる。就労の相談に乗ってくれる場も欲しい。雇用先との調整など、企業と同等の立場で交渉ができるように、社団法人

## コンピュータ技能 障害者に手ほどき

真剣に画面をのぞきこむ——  
プロップステーションのコンピュータ風景



ボランティアも  
就労支援

PROP PRESS

人の設立が目標となった。

まずは、全国の障害者に就労やコンピュータについての意識調査を実施。反応の大きかったら、技術を教えてくれるボランティアの募集、行政や企業への協力要請など準備を進め、この四月、百人強の会員を持つ組織として正式発足した。NPOなどの協力の機體やソフトもいろいろ、毎週、障害者対象の技術をセミナーを開催するほか、機體購置や、パソコン通信の運営などを実施している。

「コンピュータが好き。自分の技術を欲しがってくれる人

ボランティアは營業部隊として仕事を集めることを手放す。

桂田さん「技術があれば、仕事の手を離す必要はない。使えば、パソコン通信を利用して自宅就労も可能と強調する。自らのかわり代として「營業が早まったから、自分自身も助かる」と謙そんじながら、「自分が必要とされることになり、生きがいを感じることができた」とも。

》》》

「忙しい時は休む」をモットーに活躍するのは、住信基礎研究所の副主任研究員、神原淳さん(33)。仕事でボランティアを使っている中で、最もあり、企画担当の役員として、技術セミナーの内容を書いた。

神原さんは、都市、地域開発関係の調査や分析などを手がけている。この四月、大阪府が「福祉のまちづくり条例」を施行し

屋を技術セミナーに貸すことで会社から許可してもらった。

「パソコンセミナーは、単なるボランティアではなく、社団法人化して収益を生み出していく」というのが面田「と中西さん。最先端のコンピュータ

# 実務経験者ら100人

## セミナーや機関誌発行

がいるなら提供した」とパソコン通信を担当するのは、コンピュータプログラマーの桂田隆さん(38)。パソコン通信で送られるソフトの使ひ方の疑問に答えたり、ボードの使用状況などを管理する。

桂田さんは勤めていた会社を辞め、今春、自らの任意で有限会社を設立。この会社で受けた仕事を、技術セミナーで学んだ障害者にも回す。キャリアを磨く業務現場の場として、就職へのステップアップもあがり、進んでいく。そのかわり、プロ

たのきはじめ、仕事でまちまちのスキルをそろえ、一机上の理論的な障害者の本音の語が聞ける」という。コンピュータに関する職能を發揮するだけでなく、「人脈を仕事に「ニュービジネス」を創る。

「一緒に活動したい人がいて、

千里国際情報事業財団の中西博さん(33)。同財団には、パソコンで、端末画面を拡大して映せる装置が整った部屋がある。「個人のボランティア活動として管理責任を取る約束で、部

一技術を紹介するイベントや、シンポジウムの開催なども仕事にしてきたため、コンピュータ仲間も多い。「どんな機體なら障害者は操作できるかな」と仲間づきも興味をひいてくるようになった。

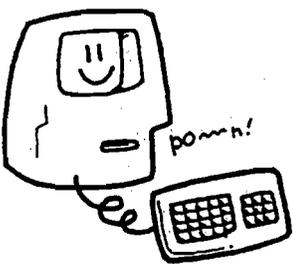
》》》

パソコンオーナーの坂上正司さん(38)は類推(ゆづい)の機體の障害があり、ソルバーの機體担当の役員を務める。実は自営業で障害者も雇用する。「自分は障害者であって経営者。企業側がおまの知らない

障害者の雇用に関する助成制度や法的な知識を活動に生かした」と語る。

坂上さんは関西学院大学で「選んで活躍。不運でも致傷(しんじょう)を負い、障害者としてのようになった。事故後も「コンピュータを学ぶ」システムエンジニアを希望。就職活動に臨み、人事担当者から、障害者になった途端に電話を切られたことがある。「人の技量も何も見ないでそれはひどい」。このわりもなく受話器を置かれた悔しさは今もまだに忘れられない。

「現状では、学校教育でも就労まで、障害者を持った瞬間からまったくとコースが違ってしまふ」と竹中十三代表。同グループのメンバーは、機體も活動の機会も様々だ。だが、「足や手、ボーンを操作するのを自分の当りのこと」障害者に対する認識が変わった(中西さん)と聞いたうえで、自然体のボランティアが、企業と障害者の「パイ」役にならぬのかも知れない。(佐々木玲子記者)



## 我羅門のネットワーク通信 よもやま話

Vol.1 No.2

前は、「動網でどんなことができるか」を説明しました。(天の声：中途半端な状態で終わらせて、「説明しました」は無かろう。今回続きをちゃんと説明するんやろうな、また中途半端違うんか?) 「動網」つまり「ネットワーク環境を持ち歩く」さて、何がいるのでしょうか?

- 通信端末
- モデム
- モジュラーケーブル
- カプラ
- 携帯電話

(天の声：携帯電話? そこまでいるんかいな。いらんじゃろ、あんな高いもの。なに次回説明するって。そりゃ失礼) でしょうか。では、それぞれを詳しく説明していきましょう。

## 1. 通信端末

これは、必須ですね。かといって、家で使っているワープロやパソコンがそのまま使えるかというと、無理ですね。なぜか? それは、家庭用電源が必要だからです。通信する場所に100Vの電源コンセントがあるとは限りませんから。家庭用コンセントのない環境で通信するほうが「動網」には多いでしょう。それに重いでしょう。デスクトップのパソコンなんかだったら、パソコンだけでなくモニタなんかも持って歩かないといけない。車でもない運べない重量になるでしょう。もちろん、旅先でそれを設置できる環境があって、そこまでもっていけるのであれば問題ないでしょうが、これだと「動網」とは言いにくいでしょう。

(天の声：1ヶ月、2ヶ月なんかの長期出張の人など、この手を使っている方もいますね。でも、この場合だと自宅で通信環境を設定するのと同じだから今回は説明からはぶいていいんじゃない? えっ、そんなことわかっているって? そりゃ失礼しました。)

では、どんな通信端末がいいのでしょうか? どこでも使うとなると、家庭用電源に依存しないバッテリー駆動の通信端末となるでしょう。たとえば、最近はやりの「ノート型パソコン」なんか対象に入るでしょう。それから、小さくて軽いこと。持ち運びが多いですから小さく軽いというの

は、大切なことです。旅行鞆に簡単に入らないと、何を目的に旅行・出張に行くのか分からなくなりますね。(天の声：「動網」を目的に行くのなら、通信セットのなかに旅行道具が入っているという事になるのかな) 最近の「ノート型パソコン」は、2kgとまだまだ重たいように思います。私も昔は、2kg以上の「ノート型パソコン」を持って「動網」していましたが、さすがに重たくて最近「ノート型パソコン」は持ち歩いてません。

(天の声：単に歳とって体力が衰えたんじゃないの) 通信ソフトさえ動けば、勿論ワープロでもかまわないわけです。現在、私が使っているのは、OASYS Pocketというワープロです。530gと軽く、コートポケットになら納まってしまうので、なかなか便利です。(天の声：キーボードが小さいのが欠点と思うのだが、我羅門は全く気にしてないな)

## 2. モデム

これも通信するには、必須ですね。通信端末同様、家庭用電源のない場所で使うことが考えられますから、バッテリー駆動や電池駆動のものが良いでしょう。最近では、電池駆動のモデムが各社からたくさん出回っていますから、それがいいでしょう。また、通信端末に内蔵するタイプもあります。これなら通信端末が電池駆動なら問題ないですね。内蔵型でないタイプを使われるなら、シリアルケーブルにも注意しましょう。通信端末やモデムも携帯性を重視しますので、シリアルコネクタの形状が、標準の形状と違う場合が有りますからね。(天の声：シリアルケーブルというのは、モデムと通信端末を接続しているケーブルです。内蔵型なら必要ないですからこの話は関係ない。) つまり、専用のケーブルが必要な場合があるということです。大概、標準のシリアルコネクタに変換するケーブルがついてくるのですが、モデムも通信端末も専用ケーブルが付いてきた場合は、それらをつなぐ変換コネクタが必要になるので注意が必要です。ハードに少し詳しい方なら専用コネクタを捜して来てケーブルを自作するのも良いかも知れませんね。

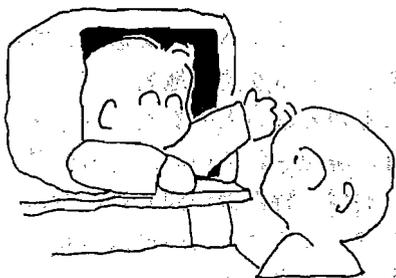
## 3. 電話

あと、ネットワーク通信に必要なものと言えば、電話回線ですね。自宅なら、壁についているモジュラジャックからモジュラケーブルで、モデムに接続するのでしょうか、出先では、そう簡単にはいかないでしょう。

友人宅の電話を借りるのなら、自宅の時と同じようにすればいいでしょう。旅館やホテルでモジュラジャックを使えるのであれば、そこにつないでしまうという方法も考えられます。(天の声：ホテルや旅館からトライするときは、色々注意事項があるけど、この辺は説明せんのか？次回するって、次回っていつかいな。)

まずは、特別な公衆電話からのアクセスを説明しましょう。いちばん簡単で、一般的でしょうし、動網の楽しさを満喫できるでしょうから。

特別な公衆電話といっても、何処にもないというものではありません。ISDN公衆電話というグレー色の公衆電話です。(天の声：緑色のISDN公衆電話もあるやろ！ほれ、おなかの所にモジュラジャックがさせるようになっている奴や。)私の通勤路の阪急梅田駅などでも見かけますし、大阪市内なら電話ボックスになったISDN公衆電話を街角で見かけることもあります。このISDN公衆電話なら、モジュラジャックが前面についているし、受話器を上げなくても、ボタンを押すことで受話器を上げたのと同じようになり、電話をかけられるので便利です。



## -----&lt;天の声&gt;-----

その昔NTTの展示会に行ったら、緑のISDN公衆電話が初登場で展示してあったんや。で、説明員曰く「特別な電話機を持ってきてこのモジュラジャックを利用すれば、その電話機の受話器を使うことができます。身障者の方でも電話付属の受話器でなく、自分にあつた受話器を使うことができます。」といきなり言い出した。まー、そのころ「動網」なんぞ一般的ではなかったから、そんなところで利点を強調するしかなかったんだろうけど。

で私が問いかけた「じゃダイヤルができるのか?」。説明員曰く「できません」。私曰く「それじゃ意味がない、身障者のことを考えるのならダイヤリングまで考えたれや」と。

いまのISDN公衆電話は、前面のモジュラジャックに接続した機器からトーンダイヤリングでダイヤルできるようになるとる。私が文句言ったからそうなったとは思わないけど。

モジュラジャックに機器が接続でき、テレカをさせ、ISDN公衆電話の前面のオンフックのボタンが押せたら、自分にあつた電話機を公衆電話でも使うことができるようになるということすな。でもまだまだ制限が多すぎるけど。

さて、このISDN公衆電話のモジュラジャックに家でやっているのと同じようにモデムをモジュラケーブルで接続する。テレカをセットし、オンフックボタンを押して、端末から「トーンダイヤル」でネットワークにアクセスすれば、後は家でやっているのと同じようにネットワーク通信を楽しむことができます。それぞれの端末やモデムによって違うので細かいところでいろいろ調整しないといけないかも知れないけど、それは各自で調整してもらいましょう。

さて、そろそろ紙面も尽きようとしていますので、今回はこの辺で筆を置きましょう。(天の声：紙面が尽きようとしてるんじゃないか、締切過ぎたんじゃないんかいな) 次回は、ISDN公衆電話でない電話からの動網作戦、ホテル旅館の電話機を利用する方法について説明したいと思います。

## 〈この本は絶対読んで!6〉

## ing . . . 見えない頂上に向かって

竹田 実由希

5号の“人!クローズアップ”でご紹介した中橋さんに「感動したヨ」と紹介していただいたこの本。「普通の本屋では売っていないかも・・・」とのアドバイスもいただいたので、直接、はりまタウンネット出版委員会(株東海 内)へ申し込めました。しかし、実際にこの本を手に入れたらと・・・。

ハードカバーの表紙には、いわさきちひろさんのやさしい絵できれいに表装されていました。ちょっと失礼かもしれないけれど、もう少しちゃんな本を想像していた私は、まずここで感動!したのでした。

この本は、著者竹田実由希さんが中学生のときから現在までの約15年間、一番微妙な時期に御自身の障害(脳性マヒ)とつきあいながら、自分以外の世界との関わりの中でいろいろ考え、悩み、感じたことを書き綴ったエッセイ集です。

でも、このエッセイ集は普通のとはちょっと違うところがあります。

実由希さんは、パソコン通信で、「はりまタウンネット」のハーティトークというフォーラムのシグオベ(まとめ役)をされています。このボードに少しずつ、玉津福祉センター入所時代のこと、中学・高校時代のことをアップしていました。この本が他と違うところは、ボードにアップされた文章をそのまま、アップした日時と共に順番も変えずに編集されている点です。実由希さんの障害では、文字を入力するのに相当の時間がかかるでしょうが、その文章量の多いこと!

上下2段のレイアウトになっていて、下段にはメッセージを読んだネットワーカーの感想などもエッセイと並行して載せられています。文章量の多さからみなさん、「無理をしないで、でもがんばって書いて!!」と実由希さんを気遣うメッセージの多かったことも印象的でした。また、実由希さんもシグオベらしく、次回の宣伝文をアップされたり・・・。

また、このエッセイが、はりまタウンネットの有志の呼びかけによりできあがったということがすごい! パソコン通信でこんなこともできるんだ、ということをお教えられた感じです。

さらに、この下段にはパソコン通信独特の言い回し、実由希さんのお友達、地名など、そのことについてなにも知らない人でもわかりやすく読めるよう、的確に解説されているのにも感動しました。パソコン通信独特の言い回しは、普段通信で使っている者にとっては、何の抵抗もなくなって、ややもすると説明するのを忘れてしまいそうなどころなのですが、ホント、安心して読めますよ。



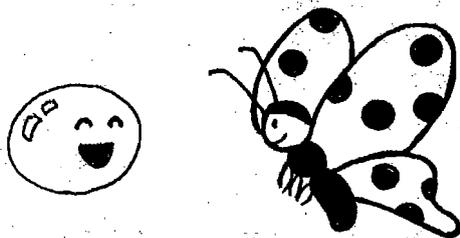
私もパソコン通信をしているので、この形式に全く違和感を感じることなく、むしろ普通の本を読んでいるというより、パソコン通信でのメッセージをROMしている（読んでいる）という気になりました。制作者の意図にはまりきった感じですか。



また、実由希さんのタイトル付けのうまさには、敬服！ 脱帽！！ センスある～！ 誉めすぎ？ いえいえ、そんなことないですよ。特に私の感覚にピピッとくるものがあるんですよ。

中学時代のエッセイは、「オフホワイトの時代」というタイトル。そのわけは、「人間だれしも小学生の頃は『純白』ですが、中学になると、少しずつ社会のこともわかってきて、色がつき始めるから」なんですって。うまい！！

本のタイトル「ing・・・見えない頂上に向かって」は、「最初は『頂上』を『ゴール』にしようかと思ったのですが、なんか『ゴール』だと平坦な道を走ってきた感じで、私の生き方には似合わないと思って、『頂上』にした」という解説。ほんとにいいわあ！！



裏話で下段に、実由希さんの「私は今回の連載で、自分が『執念深い女』だということを見ました」という書き込みには思わず、笑ってしまいました。「10年以上前のことなのに、当時の状況や感情を鮮明に思い出せるとは自分でもびっくりしています」というわけだったのです。

でも、それだけ印象強く、充実した青春時代を送られたんだなあと思うと、私はうらやましくさえ思いました。私の場合、ただなんとなく、遊び、受験勉強して、決まったレールの上を走っていればいい、という感じで青春時代を過ごしてしまったような気がしているから。深く進路を考えることなく（もしかしたら、そのときは一生懸命考えてたのかもしれないけれど）、この成績だからこの中学、この高校という感じで進路を選んでいた気がします。実由希さんに比べれば、密度が全然違うなあ。

実由希さんのいるはりまタウンネット。いわゆる草の根ネットですが、私はまだアクセスしたことがありません。でも、実由希さんを暖かく見守り、こんな立派な本を発行されているそのパワー！ ひしひしと伝わってきています。実由希さんのエッセイも今度はリアルタイムで読んでみたいし・・・。

パソコン通信をする人もしない人も、障害者の人もそうでない人も、特に20代～40代の女性には絶対ウケルと思う、この本は絶対読んで！！

(A5版、234頁、定価1,500円、

はりまタウンネット出版委員会)

はりまタウンネット：

ACCESS No. 0792-37-7200 (ゲスト可)

(大和なでしこ)

### 《初企画！！》

今回、ご紹介しました「ing・・・見えない頂上に向かって」を抽選で1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、官製ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、FLANKERに対する御意見、御感想をご記入の上、下記までご応募下さい。

メ切は、平成5年8月31日(当日消印有効)。

〒530 大阪市北区同心1-5-27 大阪ボランティア協会内 プロップ・ステーション

「この本は絶対読んで！」係

# チームメイト お便りコーナー

このコーナー、久しぶりやな……。なんせ皆さんからのお便りがあってのこのコーナー。皆さんどんどん盛り上げて下さいね。(編集部)

拝啓

御無沙汰しておりますが、如何お過ごしでしょうか。こちらの方は全然進展がありません。

先日私の友人(健常者)が、ある公の機関に行って仕事をしていたら、ある業者の人達が集まっていて、障害者の雇用の話をしていたのを偶然耳にしたらしいのですが、聞こえてきた言葉は「障害者は駄目だ」。簡単に言ってしまうとこのような会話だったそうです。青森という地は前途多難です。

今私は青森から離れるという前提で、情報収集しています。メインストリーム協会にも入会したのですが、遠距離なのでコミュニケーションのやり取りが旨くいさそうもありません。

それとフランカーへの希望ですが、できれば私みたいにパソコン通信もやっていない、みんなとセミナーにも参加できない遠距離の人達のために、どんな形でも結構ですから、誌上にて会員同士がコミュニケーションを取れたり、知識を学べたりすることができるコーナーを設けて貰えれば、嬉しいのですが……。

知識を学べてなおかつ、いろんな人達と知り合いになれると言うのは、本当に羨ましい限りです。

私をフランカーに載せて貰いましたが、残念ながら女性からの手紙は来ませんでした。(^^;)ハムのバケット通信からは、青森県内の方から連絡がきました。HOME BBS変更になりましたので、できれば片隅にでも載せてください。新 JR7CDL @ JJ7XFX では。敬具

(青森県：横屋 正樹さん)

誌上セミナーはGood ideaですね。現在編集部で検討中です。次号をお楽しみに！！

\* \* \*

@フランカーいつも楽しく読んでいます。No.5のシンボの先生方(注：曾我部さん他)の対談たいへん感じるところがありました。その思いを詩にしてみました。

働け！マルコメX

世間にブーたれて 油を売ってる暇はない  
時間があったら味噌を売れ  
とろとろ脳髓 出来たて ぬくぬく脳味噌を  
死んだと思って生きてみる  
活きの良さが取り柄だよ  
元手いらすの珍商売 売り切れ御免の限定販売

人生一回 後悔一生

使えるものは 何でも使え  
猫の手 孫の手 呪いの猿の左手さえも  
堂々めぐりの考えは 脳味噌つるつるにさせちまう  
能無しと言われたって脳はある

石のような意志を持つ

薄幸な人生と思うなら醗酵させろ人生を  
醗酵させた脳味噌が発光するよ  
全てがシステムダウンする前に  
脳味噌を売り歩け  
薄利多売の原価償却 毎日が売り出し日  
ふわふわ脊髄 美味しい ほかほか脳味噌を

@パソ通やりたいのですが、私のMSXでは1200ボー(注：1200bps)ですので、そちらのシステム対応してないらしく残念です。CG(コンピュータグラフィックス)を描いていますので、アドバイスをうかがわせて下さい。では皆様によろしく。さようなら。

(堺市：吉田 <sup>いくとし</sup> 幾俊さん)

御自身も脳性マヒの障害を持つ吉田さん。

なんか、ワイルドな詩ですね。そうそう、プロップ・ネットには1200bps、300bpsでも入れますよ。入れたあかつきには、CGの話題を広げてください。



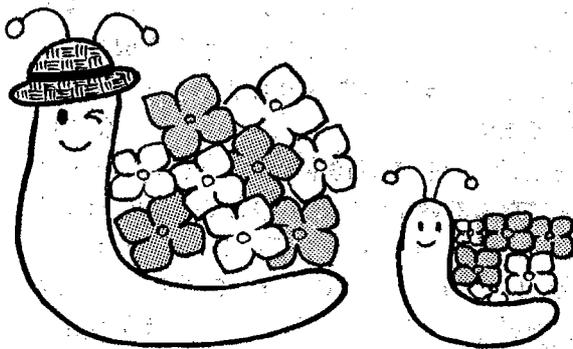
◇ お知らせ ◇



・・・お問い合わせは事務局まで・・・

**【緊急！編集委員募集！】**

編集部では、取材、原稿作成、イラスト作成、Macを使ってのレイアウトをしていただける方を大募集しております。編集委員は人数が不足しており、なにとぞ皆様のご協力をお願い致します。



**【点字版フランカーをご愛読の皆様へ】**

創刊号より多くの皆様のご協力を頂きまして、ご愛読頂いて参りました「点字版フランカー」ですが、より効率よく一人でも多くの方に可愛がって頂けますようにと事務局からの発送を取りやめ、点訳でご協力頂いております「点訳広場」加盟、全国のプリンティング・センターで直接お取り寄せいただけるようになりました。

皆様が日頃ご利用のお近くの点訳広場プリンティングセンターへ「プロップ・ステーションのフランカー各号」とお申し出頂きますと他の図書同様に実費のみでご拝読頂けます。

また、私どもが主催致しております、プロップ・ネット [TEL06-882-5393・2400bps/MNP5対応] を中心に、その他のパソコンネットでの転載、再配布も行って参りますので、そちらのご利用、転載・再配布のご協力もこの場をお借りしてお願い致します。

この場合、点字での情報入手を目的としておりますので、転載・再配布の節も現存の点字データ (点字エディタBASE(リソフウキ)orIBM-BEその他点字形態) のみでお願いします。

**◆主な転載先**

- ・ (JIBM) てんやく広場、プリンティング・センター
- ・ NIFTY-Serve (FEYE DL9 #378 FLANK04.EXE) 4号以降
- ・ プロップ・ネット 06-882-5393 2400bps MNP5対応、ゲストアクセス可

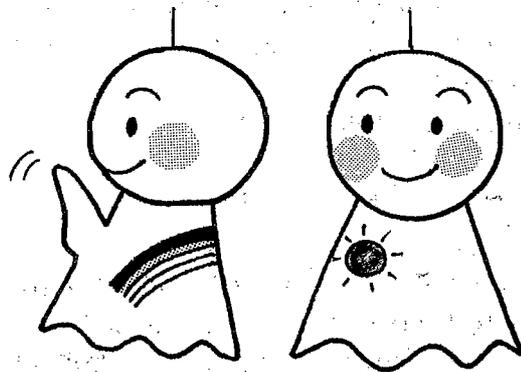
**【会員募集】**

プロップ・ステーションでは、法人化を目指し、本会の主旨にご賛同下さる個人および団体、企業のご入会を募っております。

障害を持つ人たちの社会参加と就労への道の開拓に、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

**会費 (年間一口)**

個人会費	5,000円
団体及び法人会費	20,000円
機関誌年間購読料	2,500円
(年4回発行・1冊頒価700円)	



**<プロップ・ステーション事務局>**

〒530 大阪市北区同心1丁目5-27

大阪ボランティア協会内

TEL・FAX 06-881-0041

郵便振替口座：大阪 1-324322

プロップ・ステーション

銀行振込口座：さくら銀行北浜支店

普通 3302978

プロップ・ステーション